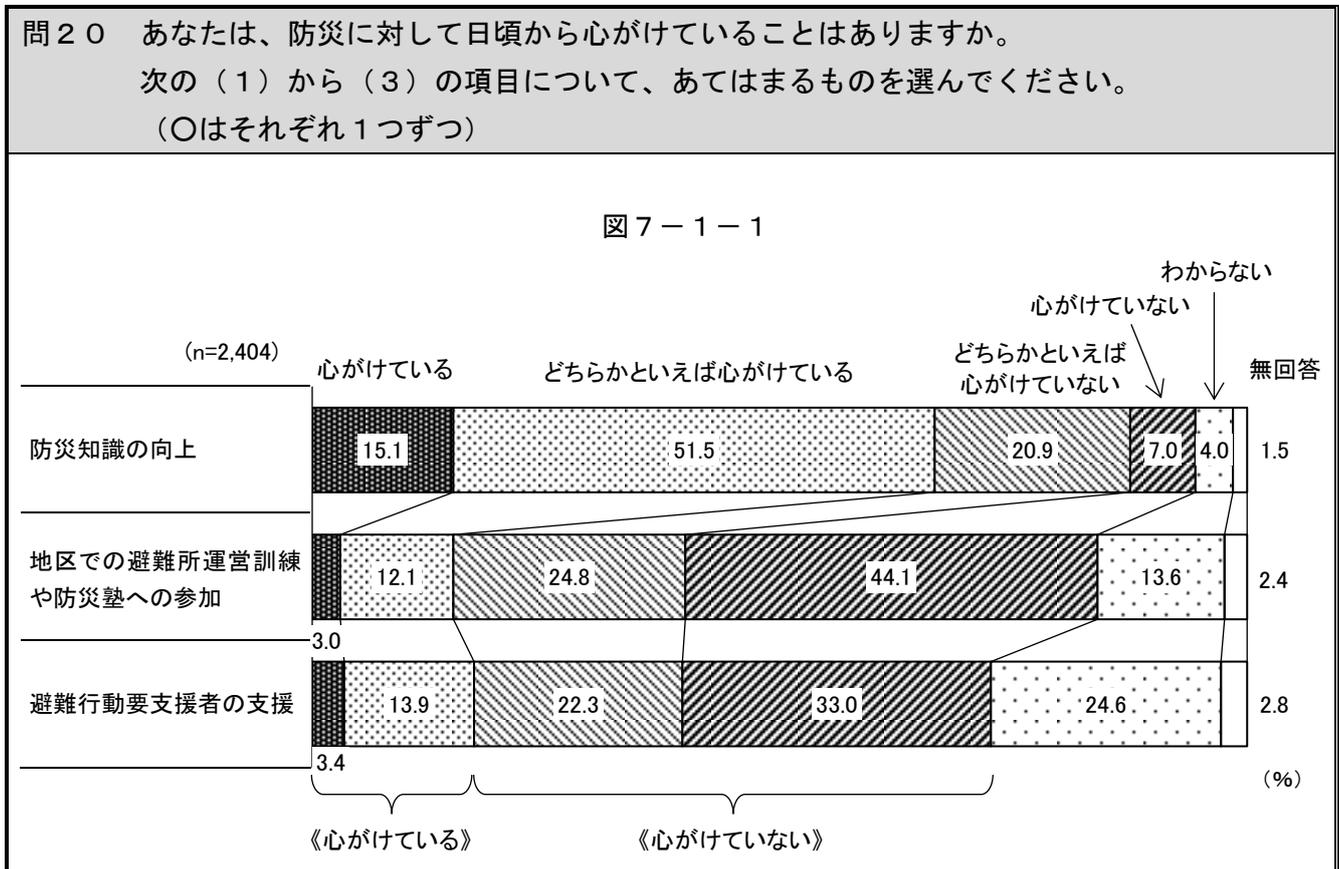


7. 災害時の備え

(1) 防災への対処

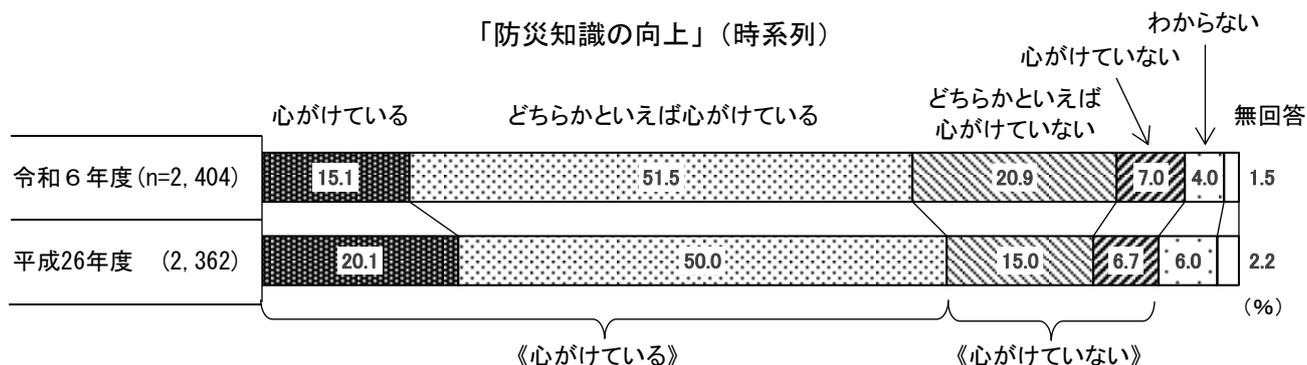
◎「防災知識の向上」は《心がけている》が7割近く



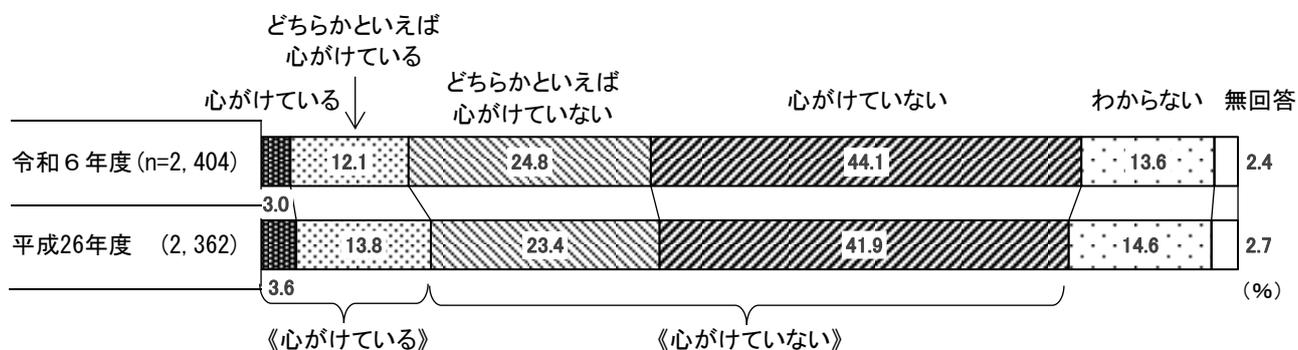
防災に対して日頃から心がけていることがあるか聞いたところ、「心がけている」と「どちらかといえば心がけている」を合わせた《心がけている》は「防災知識の向上」(66.5%)が7割近く、「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」(15.1%)が1割半ば、「避難行動要支援者の支援」(17.3%)が2割近くとなっており、「防災知識の向上」を心がけている人が多い。「どちらかといえば心がけていない」と「心がけていない」を合わせた《心がけていない》は「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」(68.8%)が7割近くで、他の2項目より高い。(図7-1-1)

図 7-1-2 防災への対処（時系列）

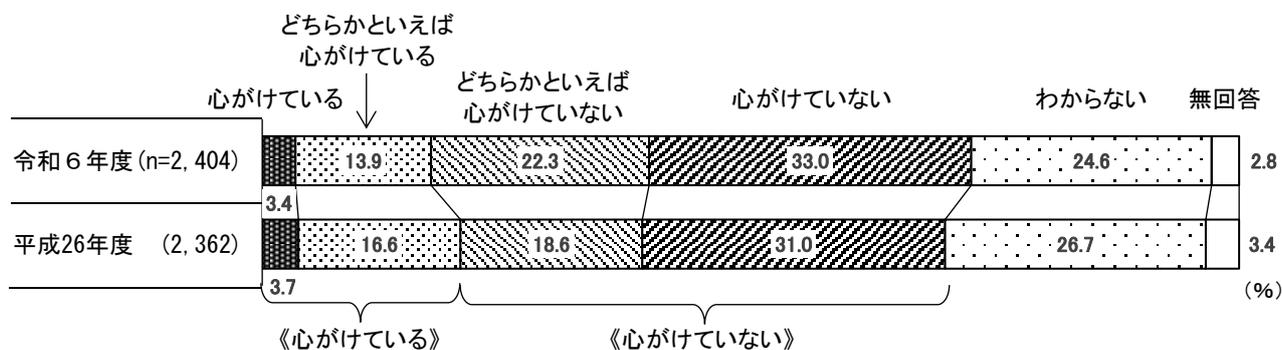
「防災知識の向上」（時系列）



「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」（時系列）



「避難行動要支援者の支援」（時系列）

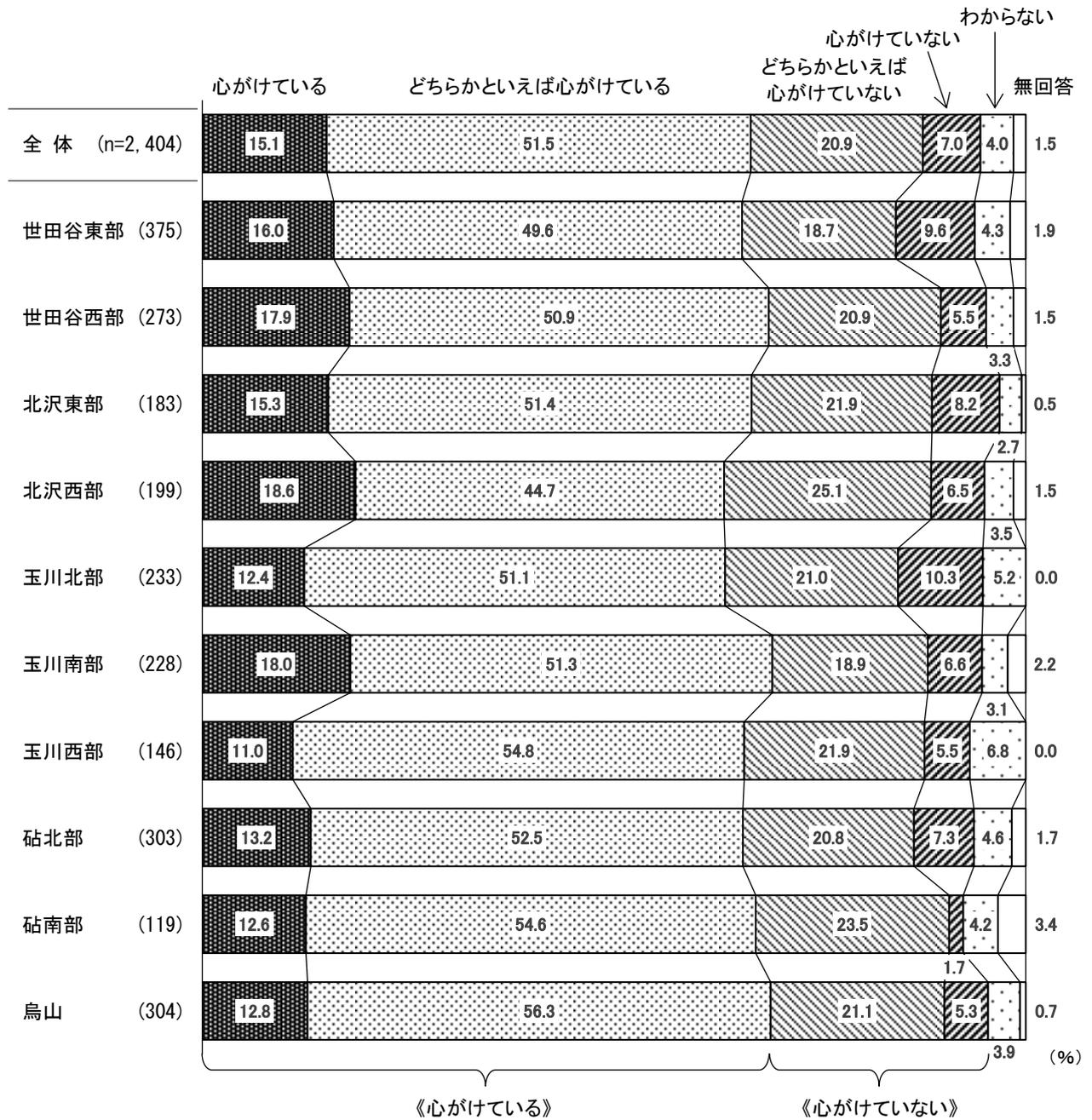


「防災知識の向上」について平成26年度からの時系列の変化をみると、《心がけている》は平成26年度（70.1%）から令和6年度（66.5%）でやや減少しており、《心がけていない》は平成26年度（21.7%）から令和6年度（27.9%）で増加している。

「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」について平成26年度からの時系列の変化をみると、《心がけている》は平成26年度（17.4%）から令和6年度（15.1%）で大きな違いはみられない。《心がけていない》は平成26年度（65.3%）から令和6年度（68.8%）でやや増加している。

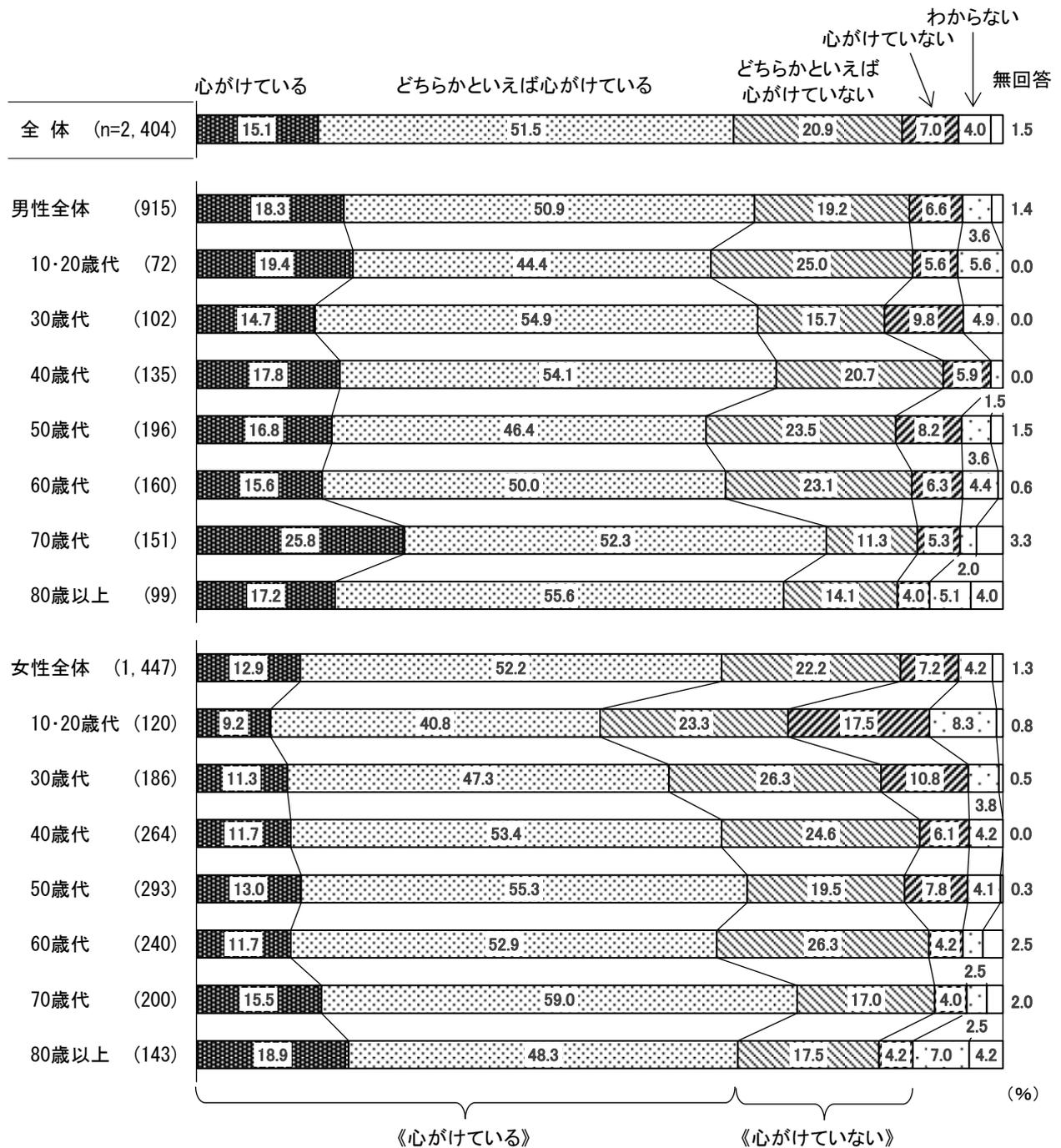
「避難行動要支援者の支援」について平成26年度からの時系列の変化をみると、《心がけている》は平成26年度（20.3%）から令和6年度（17.3%）でやや減少しており、《心がけていない》は平成26年度（49.6%）から令和6年度（55.3%）で増加している。（図7-1-2）

図 7-1-3 防災への対処
「防災知識の向上」(地域別)



「防災知識の向上」について地域別にみると、《心にかけている》は玉川南部、烏山でほぼ7割、世田谷西部、砧南部、北沢東部で7割近くとなっている。《心にかけていない》は北沢西部、玉川北部で3割を超えている。(図7-1-3)

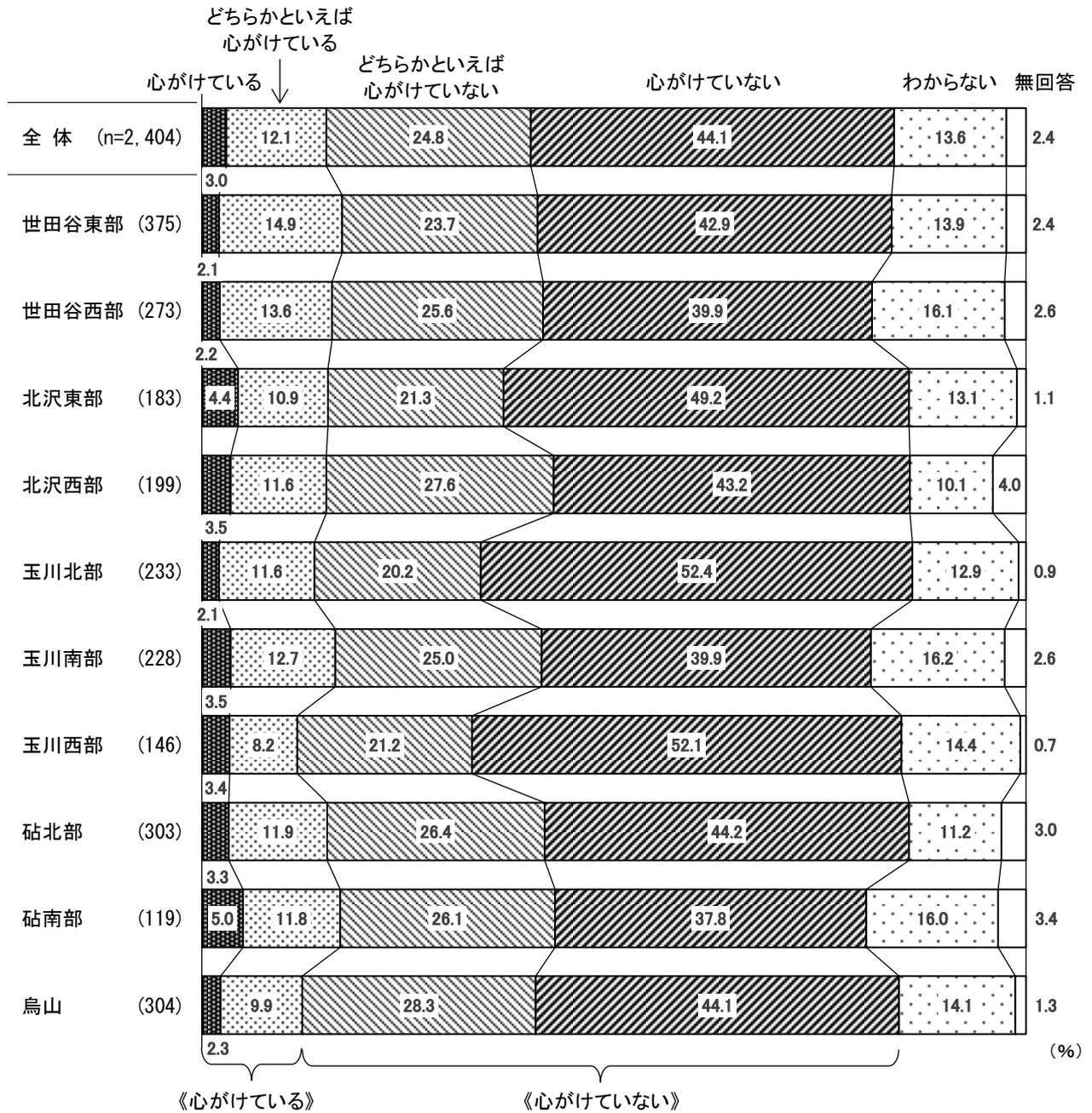
図 7-1-4 防災への対処
「防災知識の向上」(性・年齢別)



「防災知識の向上」について性・年齢別にみると、《心がかけている》は男性の70歳代で8割近く、女性の70歳代で7割半ばとなっている。一方、《心がかけていない》は女性の10・20歳代ではほぼ4割、女性の30歳代で4割近くとなっている。(図7-1-4)

図 7-1-5 防災への対処

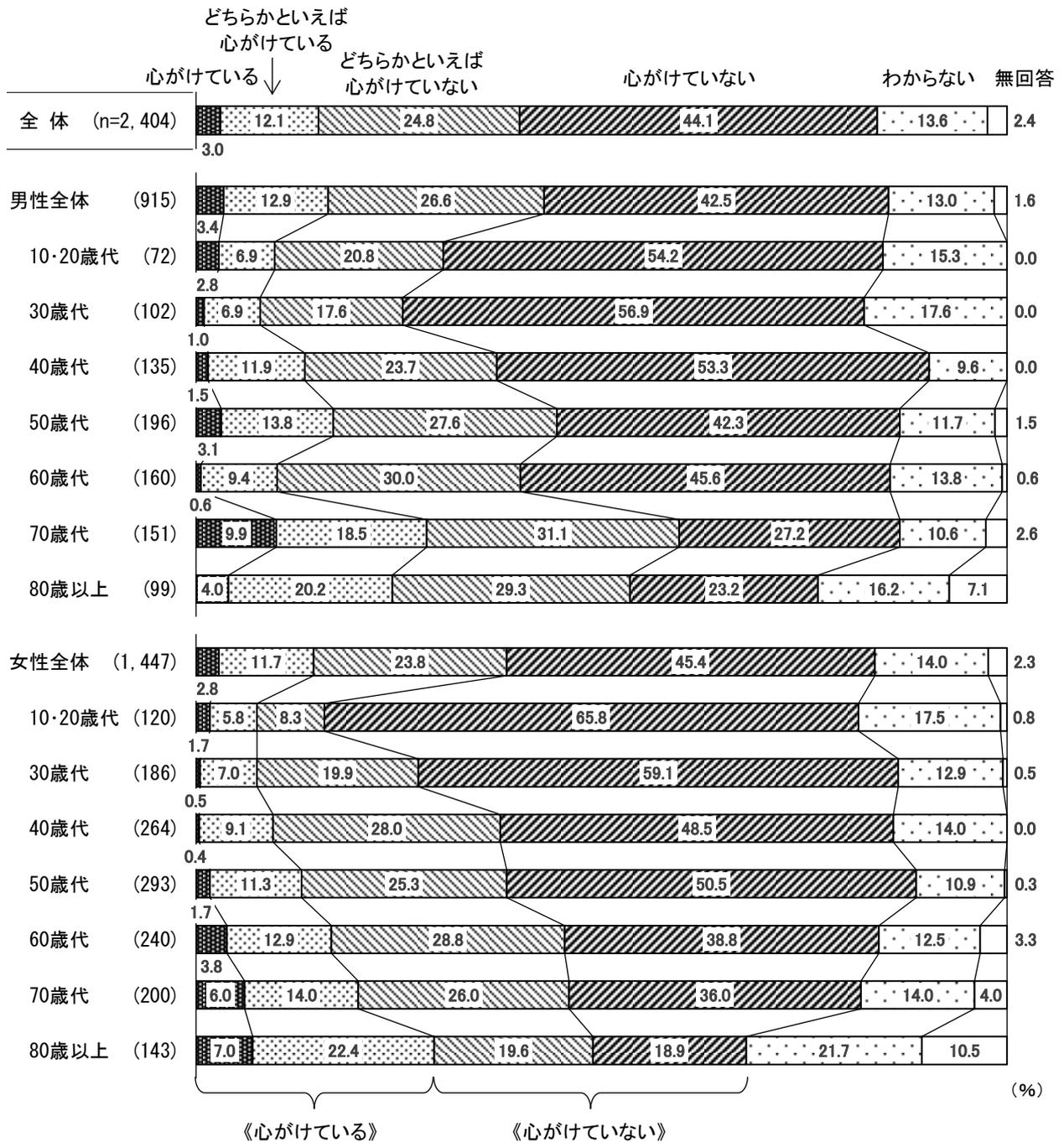
「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」(地域別)



「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」について地域別にみると、《心がけている》は世田谷東部、砧南部で2割近くとなっている。《心がけていない》は玉川西部、玉川北部、烏山で7割を超えている。(図7-1-5)

図 7-1-6 防災への対処

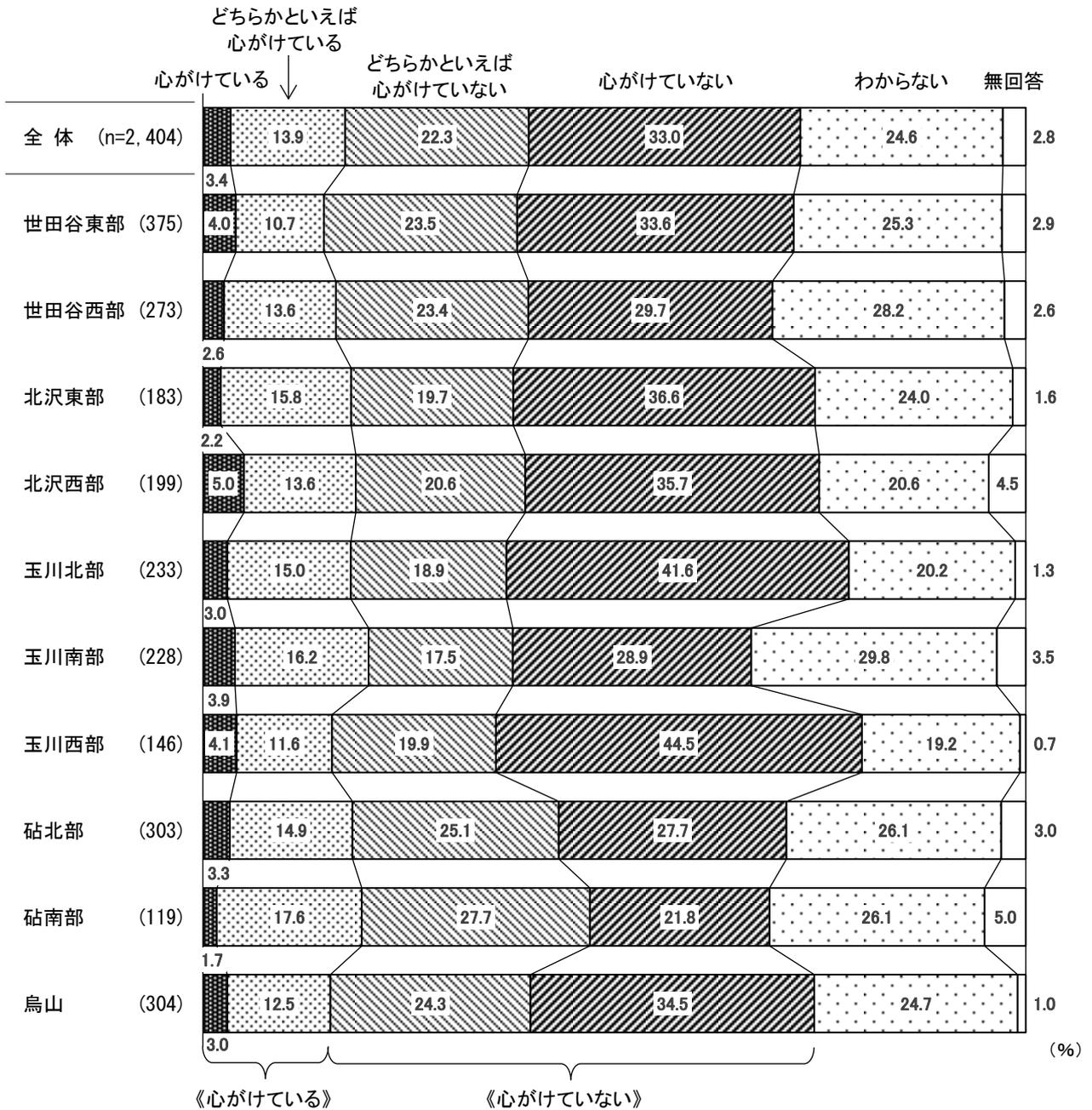
「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」(性・年齢別)



「地区での避難所運営訓練や防災塾への参加」について性・年齢別にみると、《心がかけている》は男女とも70歳代以上で2割台となっている。《心がかけていない》は女性の30歳代でほぼ8割、男性の40歳代、女性の40歳代で8割近く、男性の30歳代以下と60歳代、女性の10・20歳代と50歳代で7割半ばとなっている。(図7-1-6)

図 7-1-7 防災への対処

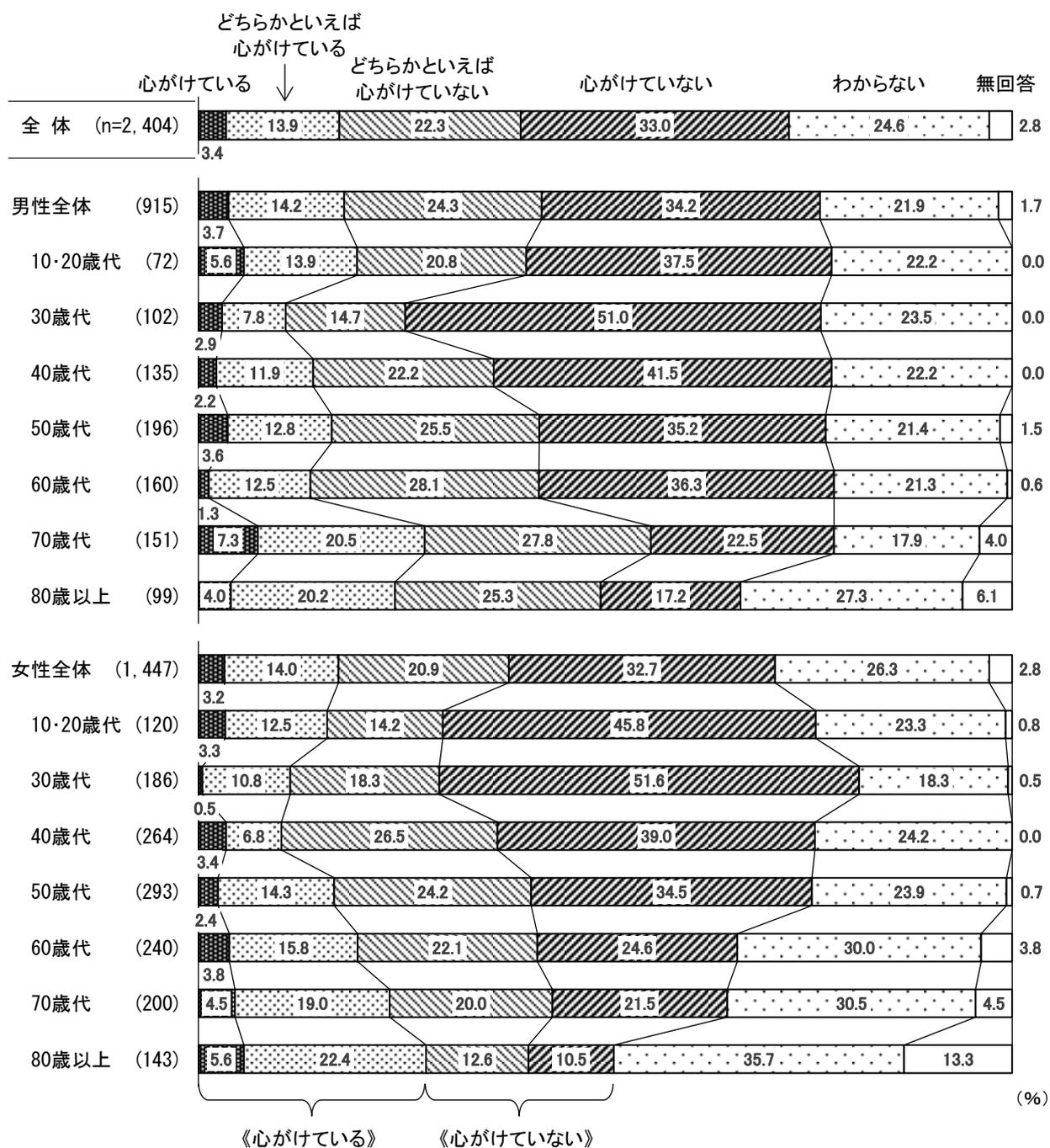
「避難行動要支援者の支援」(地域別)



「避難行動要支援者の支援」について地域別にみると、《心がけている》は玉川南部で2割、砧南部ではほぼ2割となっている。《心がけていない》は玉川西部で6割半ば、玉川北部ではほぼ6割となっている。(図7-1-7)

図 7-1-8 防災への対処

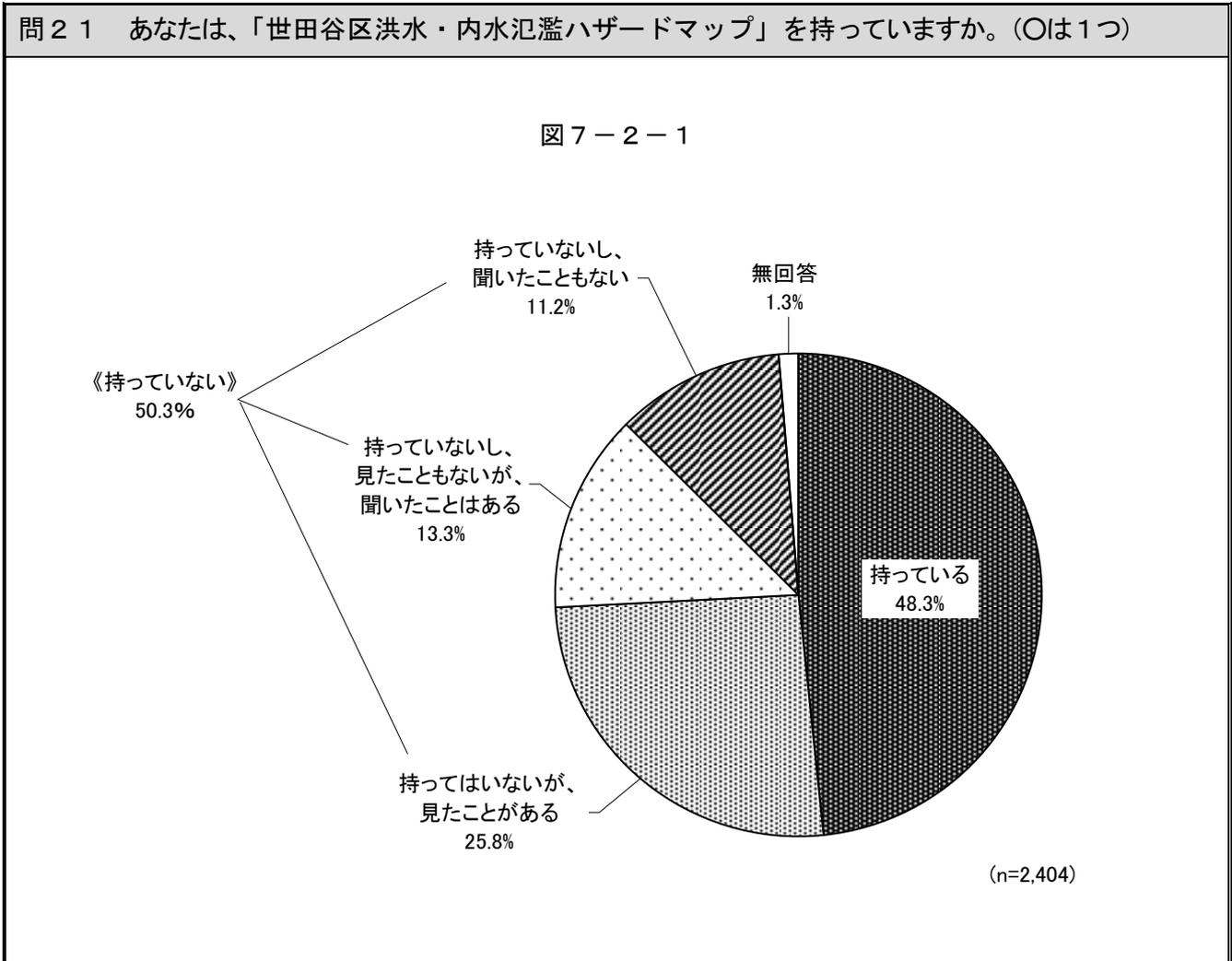
「避難行動要支援者の支援」(性・年齢別)



「避難行動要支援者の支援」について性・年齢別にみると、《心にかけている》は男女とも70歳代以上で2割台となっている。《心にかけていない》は女性の30歳代で7割、男性の30歳代と60歳代、女性の40歳代で6割半ばとなっている。(図7-1-8)

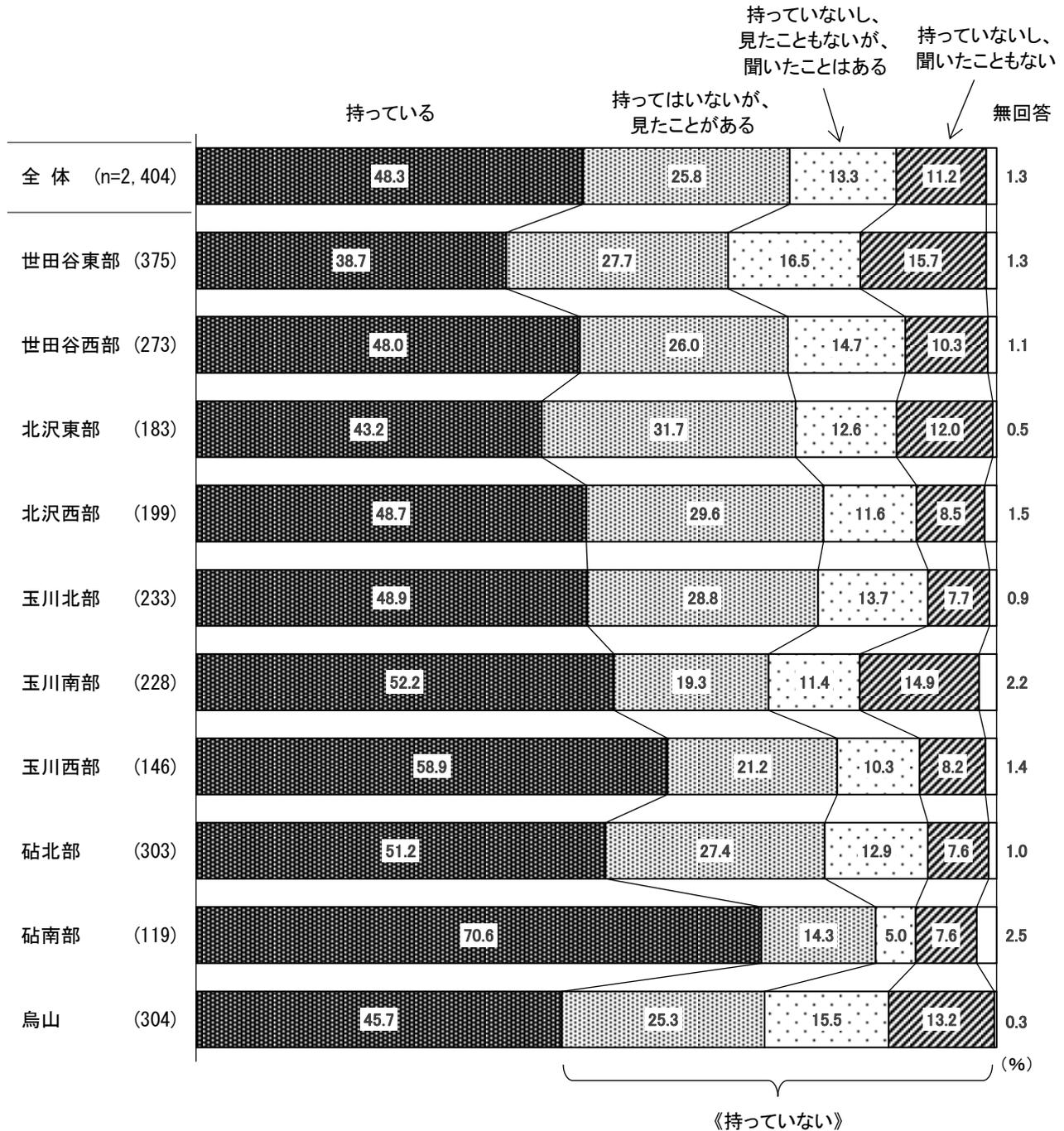
(2) 「ハザードマップ」の認知度

◎ 「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」を「持っている」が5割近く



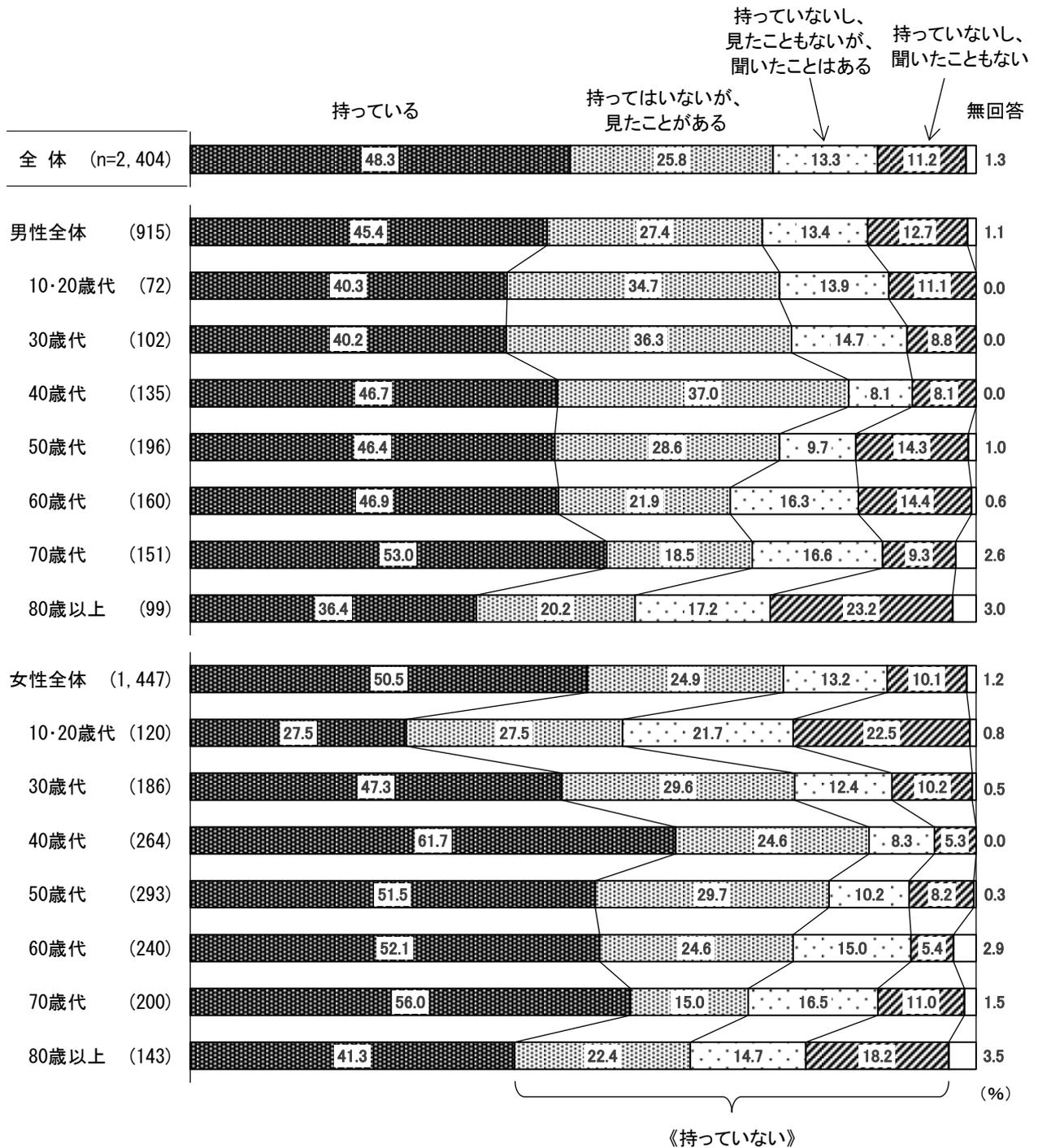
「ハザードマップ」の認知度を聞いたところ、「持っている」(48.3%)が5割近くで、「持っているし、聞いたことがある」(25.8%)と「持っているし、聞いたことはない」(13.3%)と「持っているし、聞いたことはない」(11.2%)を合わせた《持っている》(50.3%)が5割となっている。(図7-2-1)

図7-2-2 「ハザードマップ」の認知度（地域別）



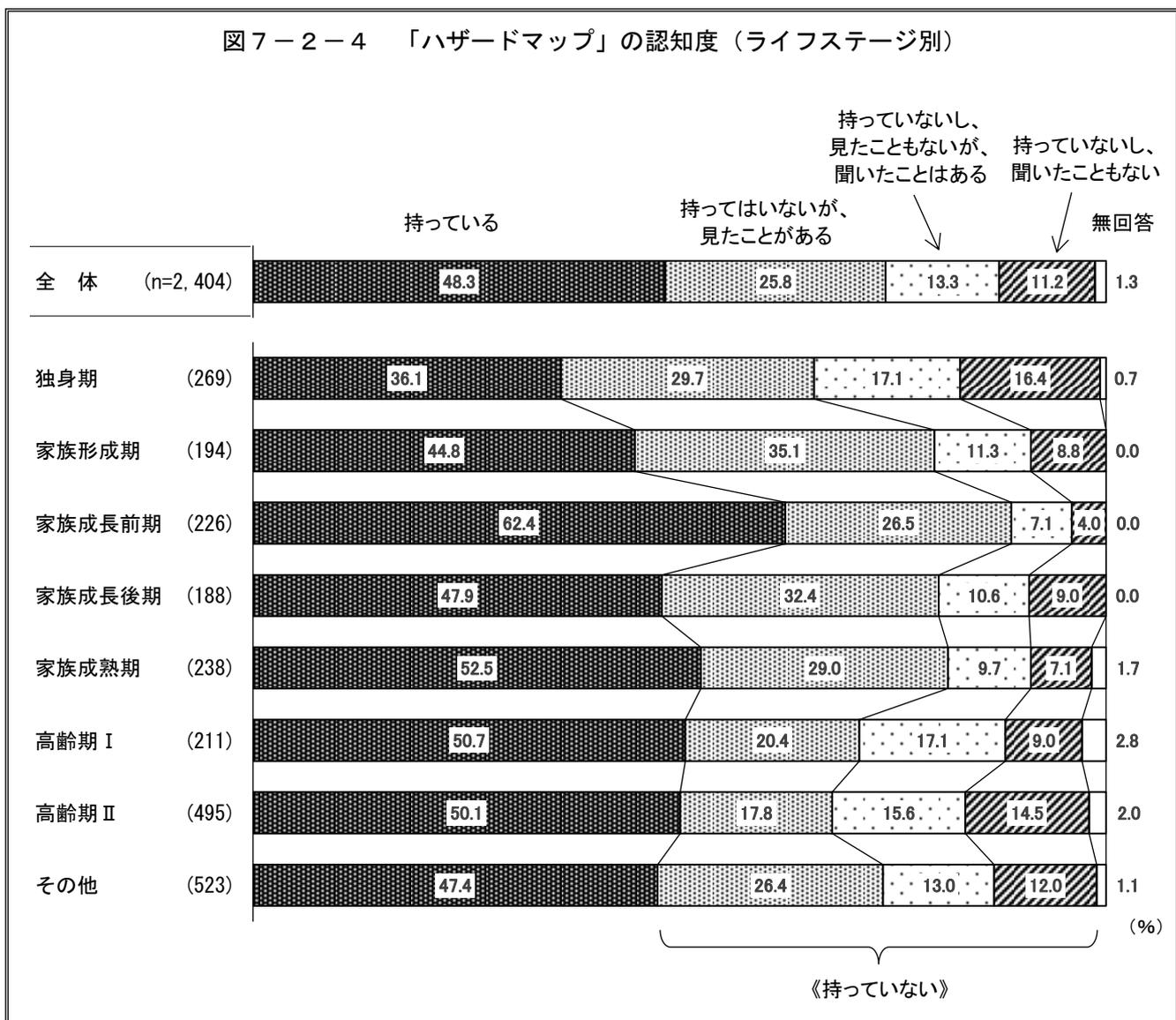
地域別にみると、「持っている」は砧南部でほぼ7割と他の地域より高く、次いで、玉川西部で6割近く、玉川南部、砧北部で5割を超えている。「持っていないし、見たこともないが、聞いたことはある」と「持っていないし、聞いたこともない」を合わせた《見たことがない》は世田谷東部で3割を超えている。(図7-2-2)

図 7-2-3 「ハザードマップ」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「持っている」は女性の40歳代で6割を超え、女性の70歳代で5割半ばとなっている。《持っていない》は女性の10・20歳代で7割を超え、男性の80歳以上でほぼ6割、男性の10・20歳代と30歳代で6割となっている。「持っていないし、見たこともないが、聞いたことはある」と「持っていないし、聞いたこともない」を合わせた《見たことがない》は女性の10・20歳代で4割半ば、男性の80歳以上で4割となっている。(図7-2-3)

図7-2-4 「ハザードマップ」の認知度（ライフステージ別）



ライフステージ別にみると、「持っている」は家族成長前期で6割を超え、家族成熟期で5割を超え、高齢期 I でほぼ5割、高齢期 II で5割となっている。《持っていない》は独身期で6割を超えている。「持っていないし、見たこともないが、聞いたことはある」と「持っていないし、聞いたこともない」を合わせた《見たことがない》は独身期で3割を超え、高齢期 II で3割となっている。

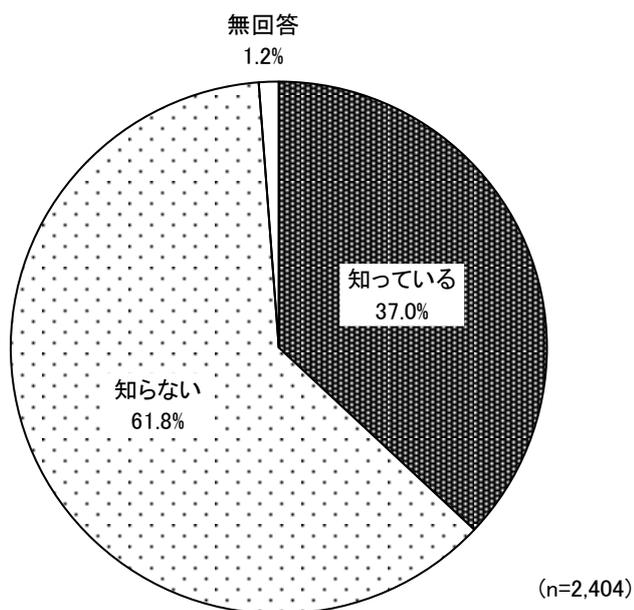
(図7-2-4)

(3) 在宅避難推奨の認知度

◎「知っている」が4割近く、「知らない」が6割を超える

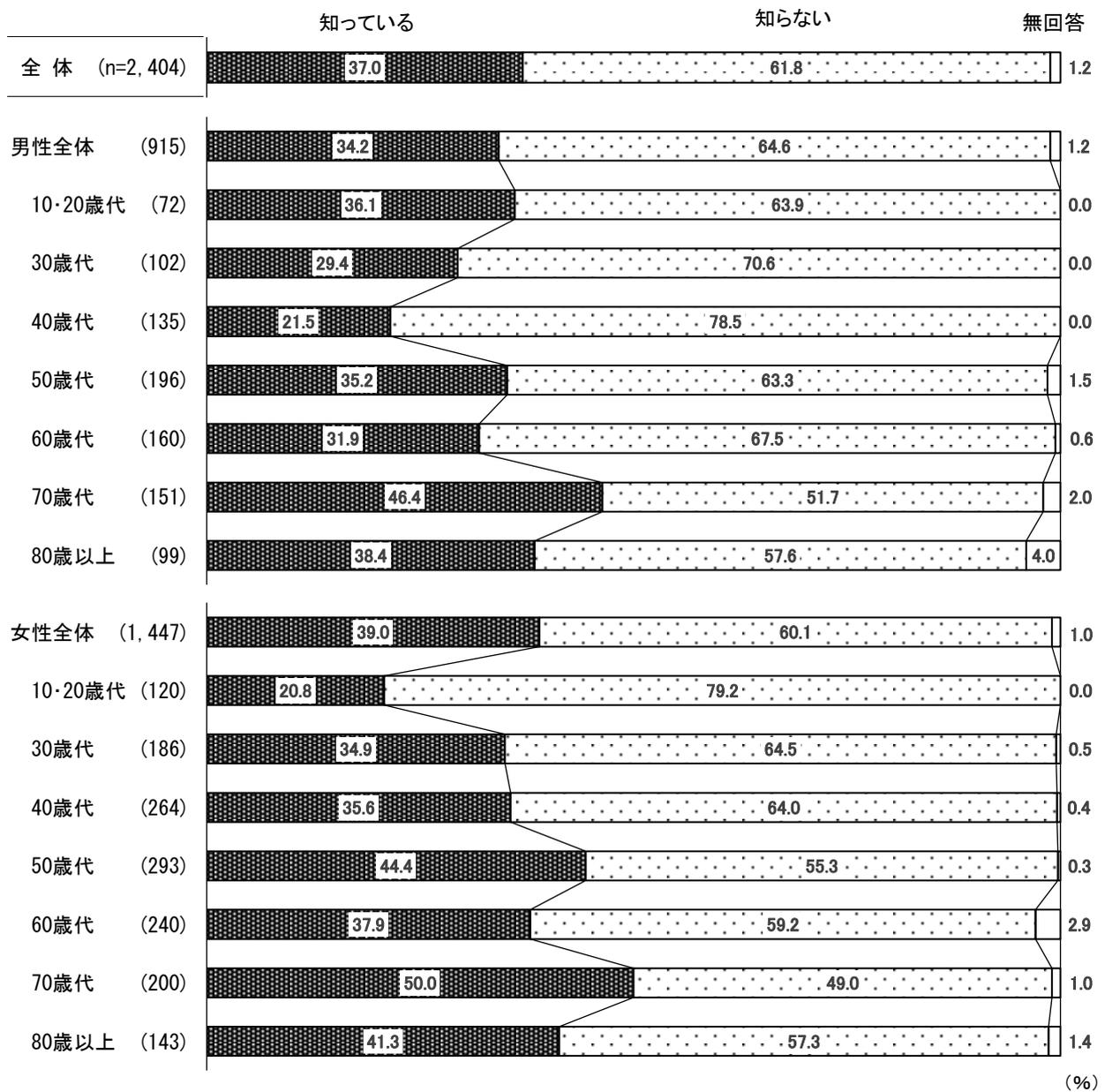
問22 あなたは区が在宅避難を推奨していることを知っていましたか。(〇は1つ)

図7-3-1



区が在宅避難を推奨していることを知っているか聞いたところ、「知っている」(37.0%)が4割近く、「知らない」(61.8%)が6割を超える。(図7-3-1)

図 7-3-2 在宅避難推奨の認知度（性・年齢別）

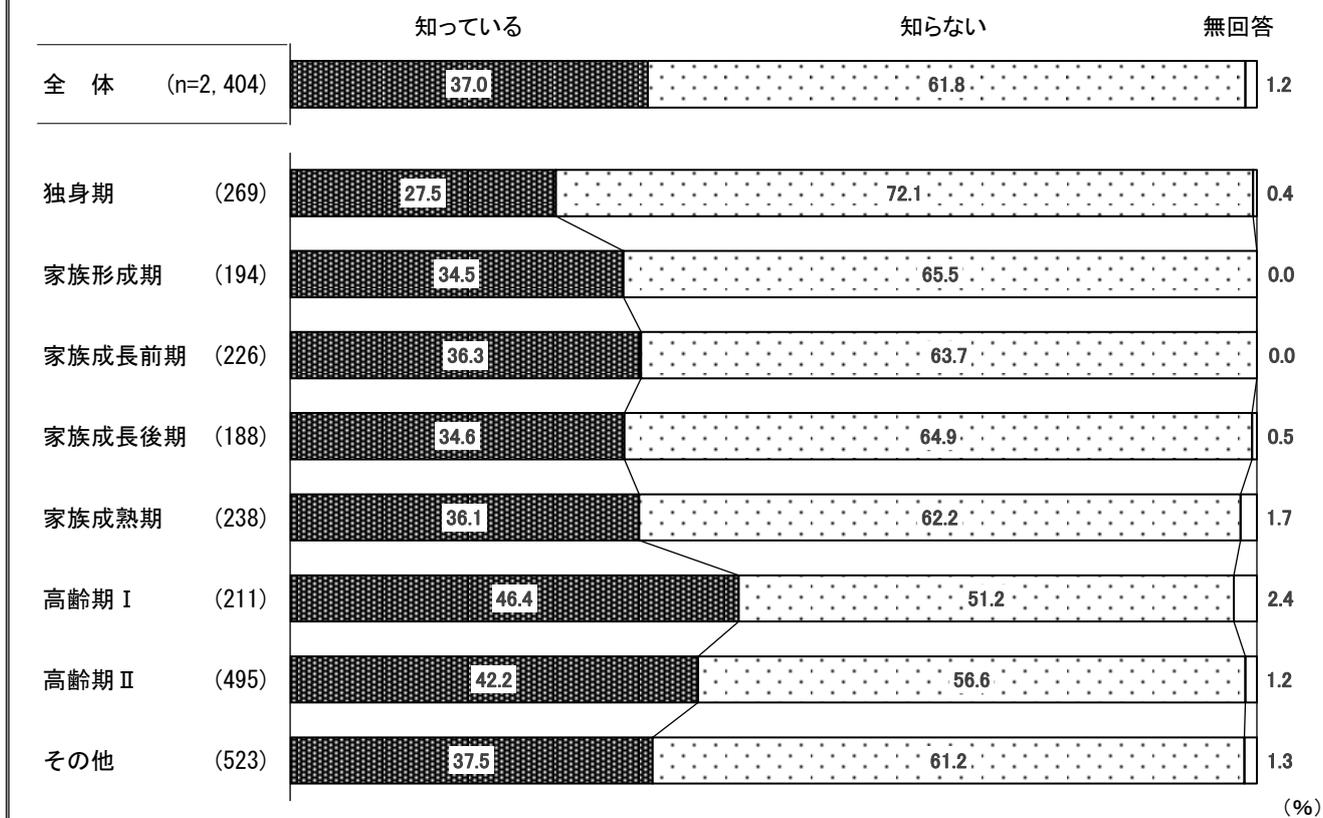


(%)

性・年齢別にみると、女性の70歳代を除くすべての年代で「知っている」より「知らない」の方が高い。「知っている」は女性の70歳代で5割、男性の70歳代、女性の50歳代で4割半ばとなっている。一方、「知らない」は女性の10・20歳代でほぼ8割、男性の40歳代で8割近くとなっている。

(図 7-3-2)

図 7-3-3 在宅避難推奨の認知度（ライフステージ別）



ライフステージ別にみると、「知っている」は高齢期 I で 4 割半ば、高齢期 II で 4 割を超えている。一方、「知らない」は独身期で 7 割を超え、家族形成期、家族成長後期で 6 割半ばとなっている。

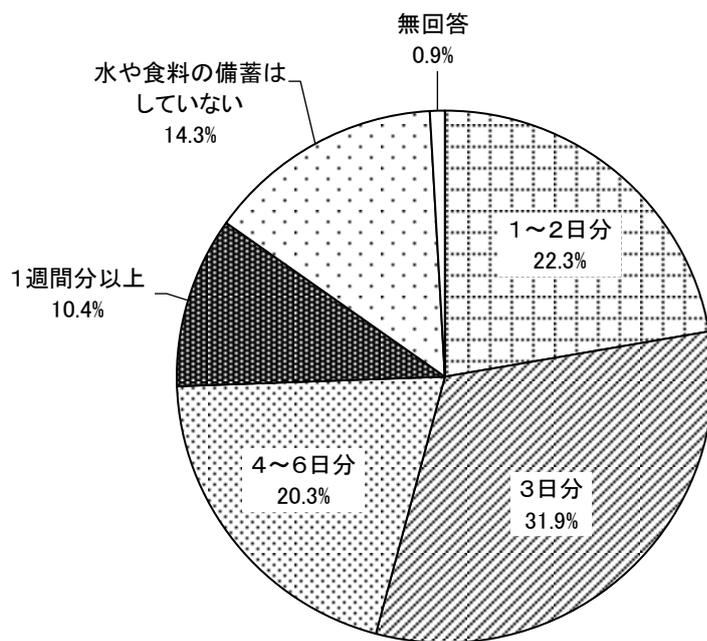
(図 7-3-3)

(4) 水や食料の備蓄について

◎水や食料の備蓄は「3日分」が3割を超える

問23 あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。(○は1つ)

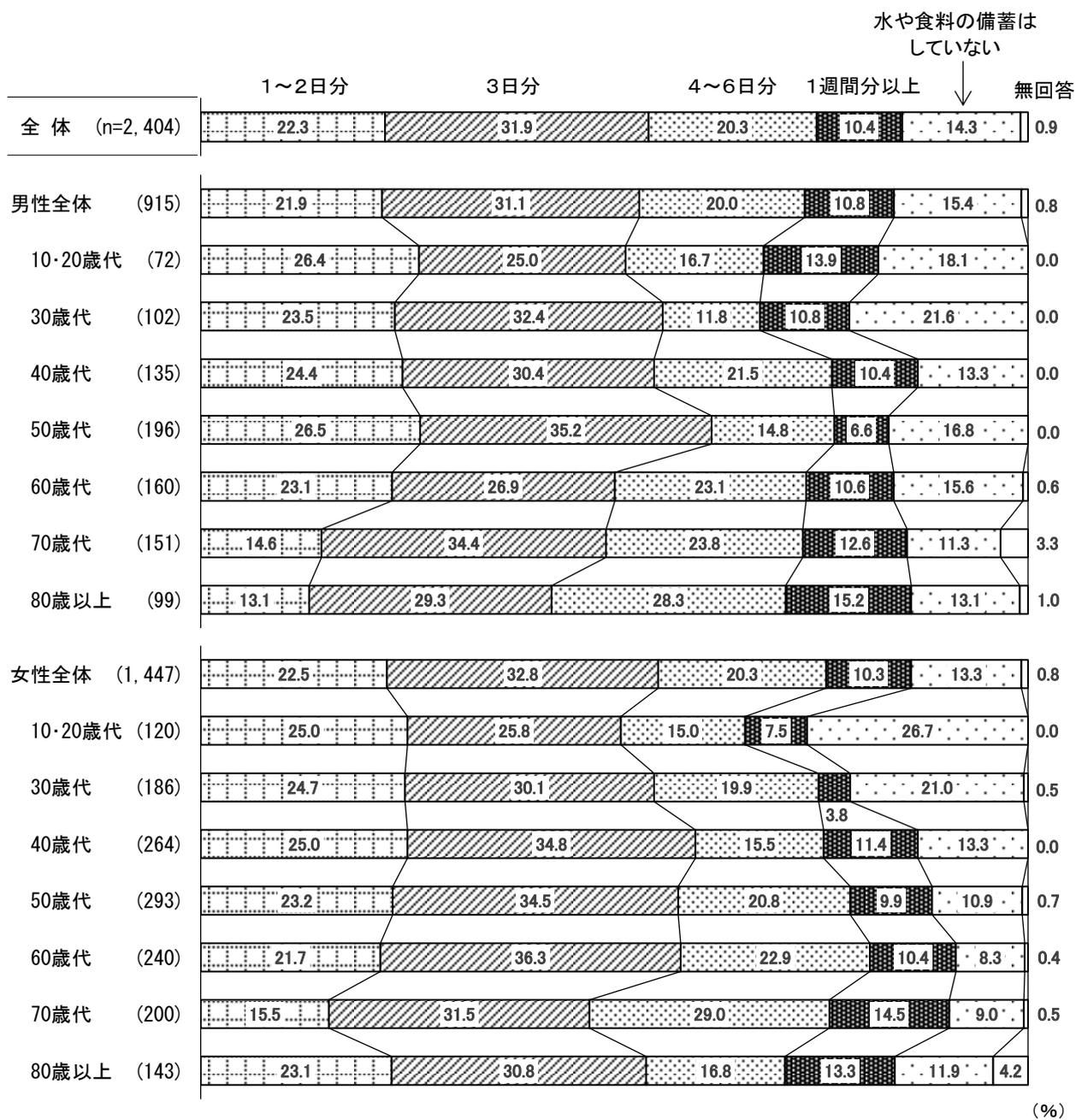
図7-4-1



(n=2,404)

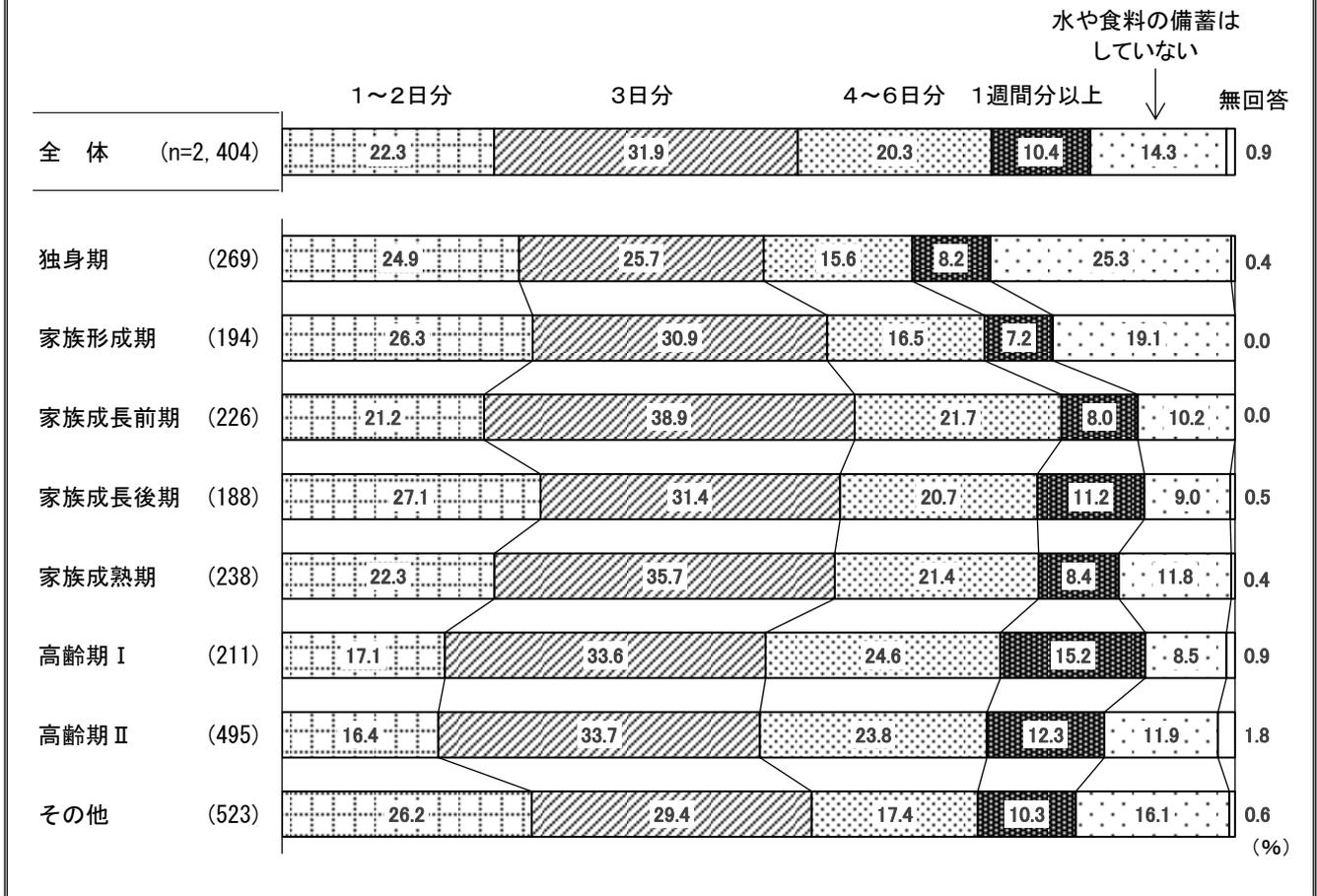
災害に備えて水や食料を何日分備蓄しているか聞いたところ、「3日分」(31.9%)が3割を超えて最も高く、以下、「1～2日分」(22.3%)、「4～6日分」(20.3%)などと続いている。「水や食料の備蓄はしていない」(14.3%)は1割半ばとなっている。(図7-4-1)

図7-4-2 水や食料の備蓄について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の水や食料を備蓄している割合は、女性の10・20歳代を除くすべての年代で5割を超えており、女性の70歳代で7割半ば、男性の80歳以上で7割を超え、男性の70歳代でほぼ7割、女性の60歳代で7割となっている。「水や食料の備蓄はしていない」は男女ともに30歳代以下が高く、女性の10・20歳代で3割近く、男性の30歳代、女性の30歳代で2割を超えている。（図7-4-2）

図7-4-3 水や食料の備蓄について（ライフステージ別）



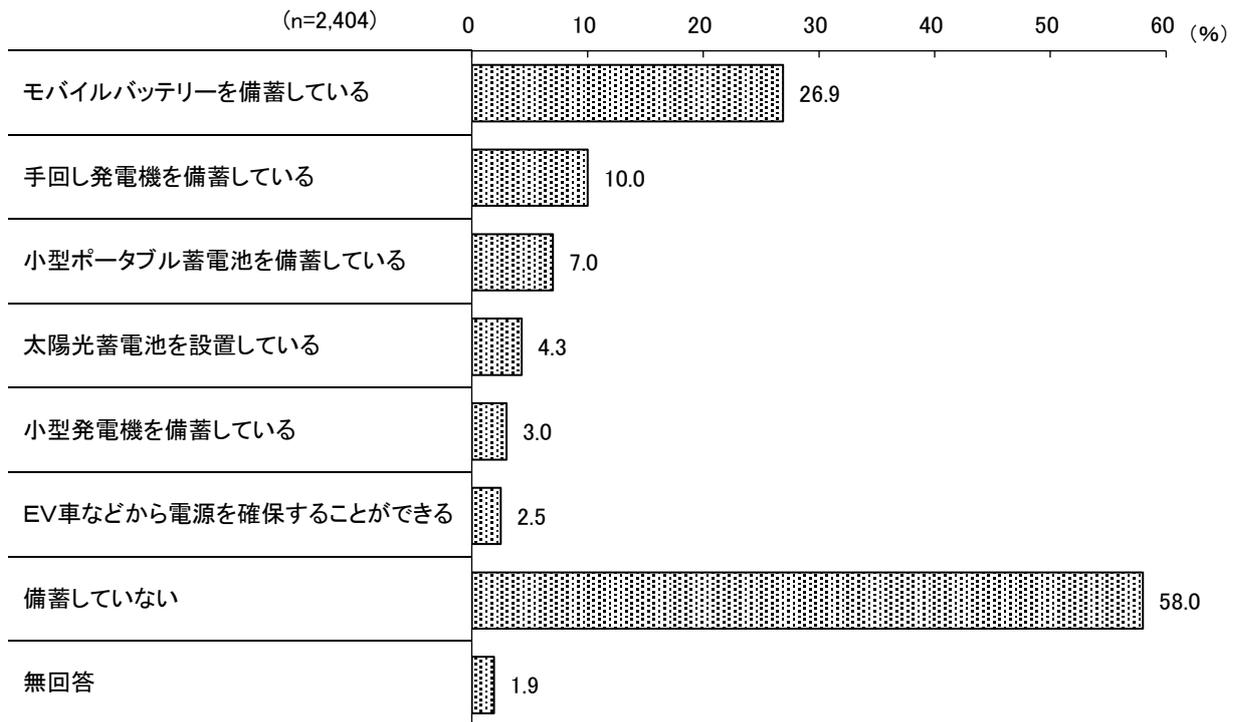
ライフステージ別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の水や食料を備蓄している割合は高齢期Ⅰで7割を超え、高齢期Ⅱで7割となっている。一方、独身期で3日分以上備蓄している割合はほぼ5割と他のライフステージに比べ低い。（図7-4-3）

(5) 非常用電力の備蓄について

◎非常用電力は「備蓄していない」が6割近く

問24 あなたのご家庭では、災害に備えて非常用電力の備蓄をしていますか。(〇はいくつでも)

図7-5-1



災害時に備えた非常用電力を備蓄しているか聞いたところ、「備蓄していない」(58.0%)が6割近くで最も高い。備蓄している中では、「モバイルバッテリーを備蓄している」(26.9%)が3割近くで最も高く、以下、「手回し発電機を備蓄している」(10.0%)、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」(7.0%)などと続く。(図7-5-1)

表 7-5-1 非常用電力の備蓄について（性・年齢別）

		(%)								
		n	モバイルバッテリーを備蓄している	手回し発電機を備蓄している	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	太陽光蓄電池を設置している	小型発電機を備蓄している	EV車などから電源を確保することができる	備蓄していない	無回答
全体		2,404	26.9	10.0	7.0	4.3	3.0	2.5	58.0	1.9
性・年齢別	男性全体	915	24.9	9.0	8.3	3.5	2.7	2.5	60.5	1.2
	10・20歳代	72	40.3	18.1	6.9	1.4	8.3	4.2	44.4	1.4
	30歳代	102	43.1	8.8	5.9	5.9	2.0	1.0	47.1	1.0
	40歳代	135	34.8	8.1	11.1	5.2	0.7	0.7	54.8	-
	50歳代	196	25.5	9.2	8.7	2.6	2.6	4.1	59.2	0.5
	60歳代	160	21.3	10.0	12.5	2.5	3.1	1.9	63.1	0.6
	70歳代	151	13.9	6.6	7.3	4.0	1.3	3.3	67.5	3.3
	80歳以上	99	3.0	5.1	2.0	3.0	4.0	2.0	81.8	2.0
	女性全体	1,447	28.5	10.6	6.3	4.9	3.1	2.5	56.1	2.1
	10・20歳代	120	38.3	17.5	2.5	5.8	9.2	4.2	46.7	-
	30歳代	186	47.8	12.9	6.5	4.8	3.2	2.2	39.8	1.1
	40歳代	264	41.7	12.5	7.6	6.1	1.5	1.5	45.8	1.9
	50歳代	293	30.7	12.3	10.2	5.1	3.8	4.8	50.9	1.0
	60歳代	240	23.3	8.8	4.6	5.8	2.9	2.5	61.7	0.8
70歳代	200	9.5	7.0	4.5	3.5	1.0	1.5	75.0	3.0	
80歳以上	143	2.1	3.5	4.2	2.1	2.8	-	79.0	9.1	

性・年齢別にみると、「備蓄していない」は若年層より高年層の方が高く、男性の80歳以上で8割を超え、女性の80歳以上でほぼ8割、女性の70歳代で7割半ばとなっている。「モバイルバッテリーを備蓄している」は若年層が高く、女性の30歳代で5割近く、男性の30歳代、女性の40歳代で4割を超え、男性の10・20歳代で4割となっている。「手回し発電機を備蓄している」は男女とも10・20歳代で2割近くとなっている。（表7-5-1）

表 7-5-2 非常用電力の備蓄について（ライフステージ別）

		(%)								
		n	モバイルバッテリーを備蓄している	手回し発電機を備蓄している	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	太陽光蓄電池を設置している	小型発電機を備蓄している	EV車などから電源を確保することができる	備蓄していない	無回答
全 体		2,404	26.9	10.0	7.0	4.3	3.0	2.5	58.0	1.9
ライフステージ別	独身期	269	43.5	14.5	3.7	4.8	7.1	3.0	43.9	0.7
	家族形成期	194	42.8	13.9	10.8	3.6	2.1	1.0	45.4	0.5
	家族成長前期	226	38.9	8.4	7.5	4.9	1.8	2.7	48.7	1.3
	家族成長後期	188	39.9	13.3	14.4	6.9	2.7	2.7	44.7	1.1
	家族成熟期	238	27.3	12.6	8.8	5.5	2.5	8.0	53.8	0.4
	高齢期Ⅰ	211	14.2	8.1	9.0	5.7	3.8	2.8	65.9	2.8
	高齢期Ⅱ	495	9.1	6.1	4.4	2.6	1.8	1.4	76.6	2.8
	その他	523	25.8	9.8	5.9	3.6	2.7	1.0	59.5	1.5

ライフステージ別にみると、「備蓄していない」は高齢期Ⅱで8割近く、高齢期Ⅰで6割半ばとなっている。「モバイルバッテリーを備蓄している」は独身期、家族形成期で4割を超え、家族成長後期で4割、家族成長前期で4割近くとなっている。「手回し発電機を備蓄している」は独身期で1割半ば、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」は家族成長後期で1割半ばとなっている。

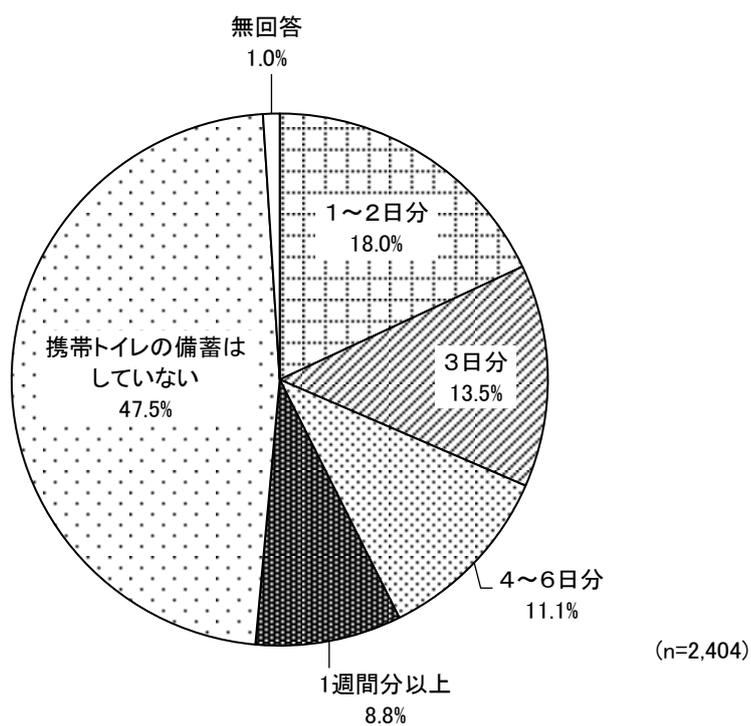
(表 7-5-2)

(6) 携帯トイレの備蓄について

◎「携帯トイレの備蓄はしていない」が5割近く

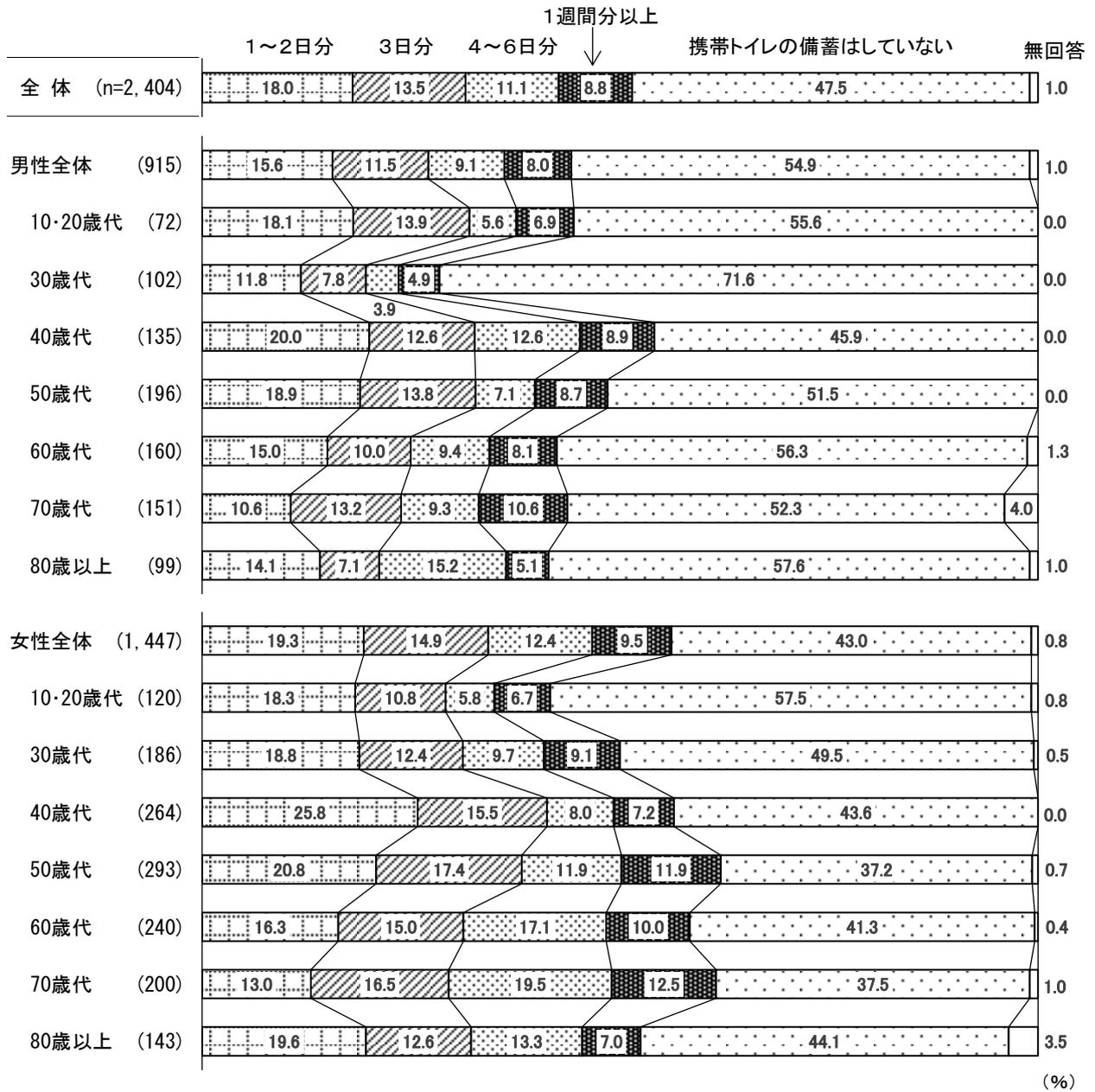
問25 あなたのご家庭では、携帯トイレを何日分備蓄していますか。(○は1つ)

図7-6-1



災害に備えて携帯トイレを何日分備蓄しているか聞いたところ、「携帯トイレの備蓄はしていない」(47.5%)が5割近くで最も高い。備蓄している中では、「1～2日分」(18.0%)、「3日分」(13.5%)、「4～6日分」(11.1%)、「1週間分以上」(8.8%)と続く。(図7-6-1)

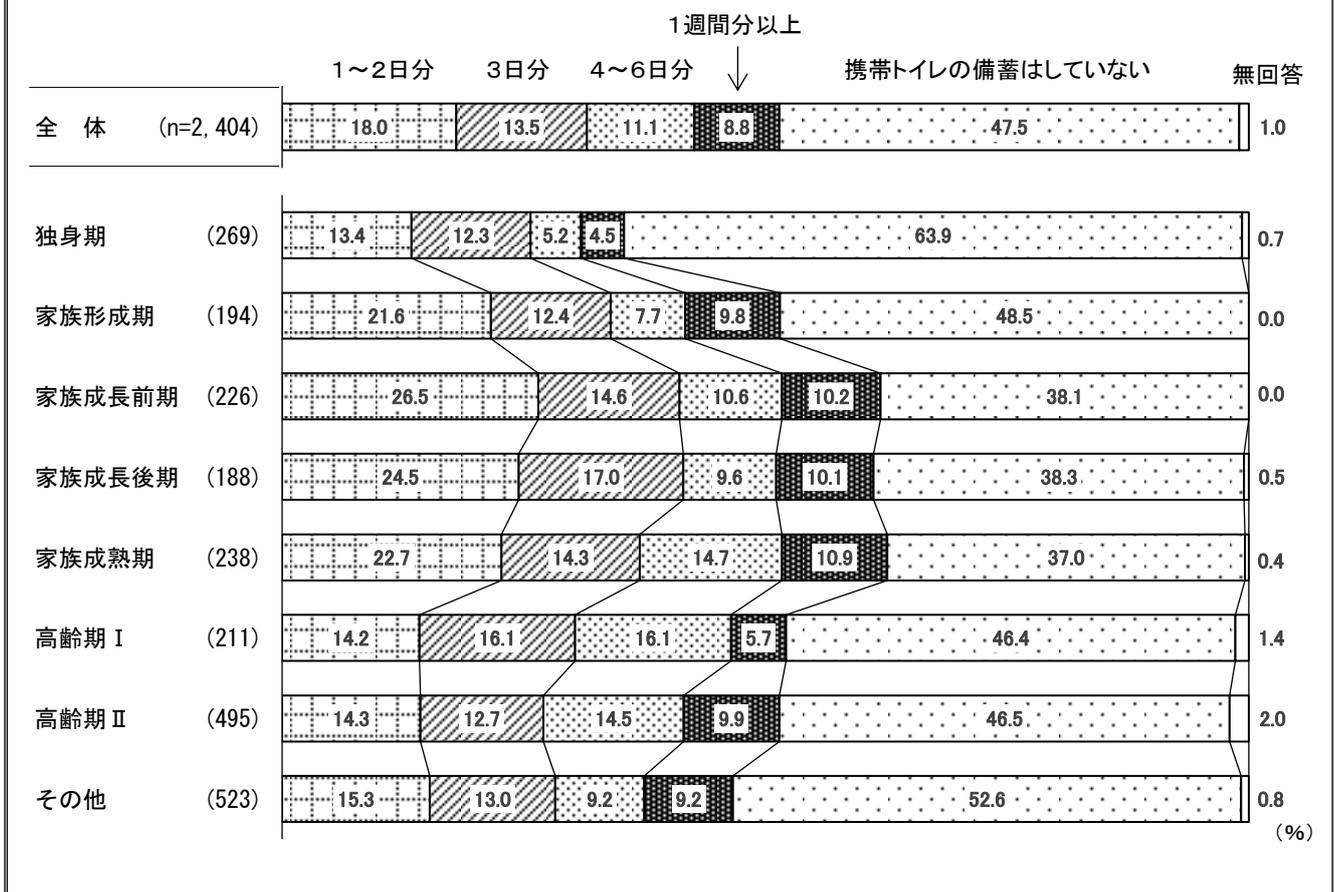
図7-6-2 携帯トイレの備蓄について（性・年齢別）



(%)

性・年齢別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の携帯トイレを備蓄している割合は、女性の70歳代で5割近く、女性の50歳代と60歳代で4割を超えている。「携帯トイレの備蓄はしていない」は男性の30歳代で7割を超え、男性の80歳以上、女性の10・20歳代で6割近く、男性の10・20歳代と60歳代で5割半ばとなっている。（図7-6-2）

図7-6-3 携帯トイレの備蓄について（ライフステージ別）



ライフステージ別にみると、3日分以上（「3日分」＋「4～6日分」＋「1週間分以上」）の携帯トイレを備蓄している割合は家族成熟期で4割、家族成長後期、高齢期Ⅰ、高齢期Ⅱで4割近くとなっている。「1～2日分」は家族成長前期で3割近く、家族成長後期で2割半ば、「携帯トイレの備蓄はしていない」は独身期で6割を超え、その他で5割を超えている。（図7-6-3）